



プロジェクト名称

SIT-A ミラノチャレンジ

プロジェクト活動概要

Tokyo Design Week で開催される、「TOKYO AWARDS 学校作品展」へ出展し、11 万人を超える来場者に向けてシバウラのケンチクを PR する。グランプリは、ミラノサローネ含め海外の多くの展覧会への参加が認められるため、国際的にも PR 出来る。

学校作品展では、5m×4m の空間作品を制作する。授業の枠を超えて建築系学生が集まり、計画・制作することによってより多くの学生との交流を促す。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① グランプリ (Tokyo Awards) を取り、ミラノサローネへの出展を果たす事
- ② Tokyo Design Weekへの参加により、2017年度に控える建築学部設立を含め、芝浦工業大学のケンチクを広く対外的にPRする
- ③ 学生の成長と交流 (実践的なプロジェクトを通して、チームでのものづくりや問題解決を学びながら、学内外の学生・関係者と交流することができる)

①②③共に、TOKYO DESIGN WEEK がまだ開催されていない為、目標は達成できていないが③に関しては、夏休みも1年生も2年生も3年生も学科問わず集まり、活動をすることができたので、大学内の交流は促されていると思われる。

活動状況報告&活動写真

活動期間：2016年6月1日～9月30日

既存のクラブ・サークル、研究室以外のメンバーで学生が新しいチームを組み、それぞれ企画・実行していく活動に対し、大学が資金援助をするというものです。

今後の活動計画、目標、意気込み

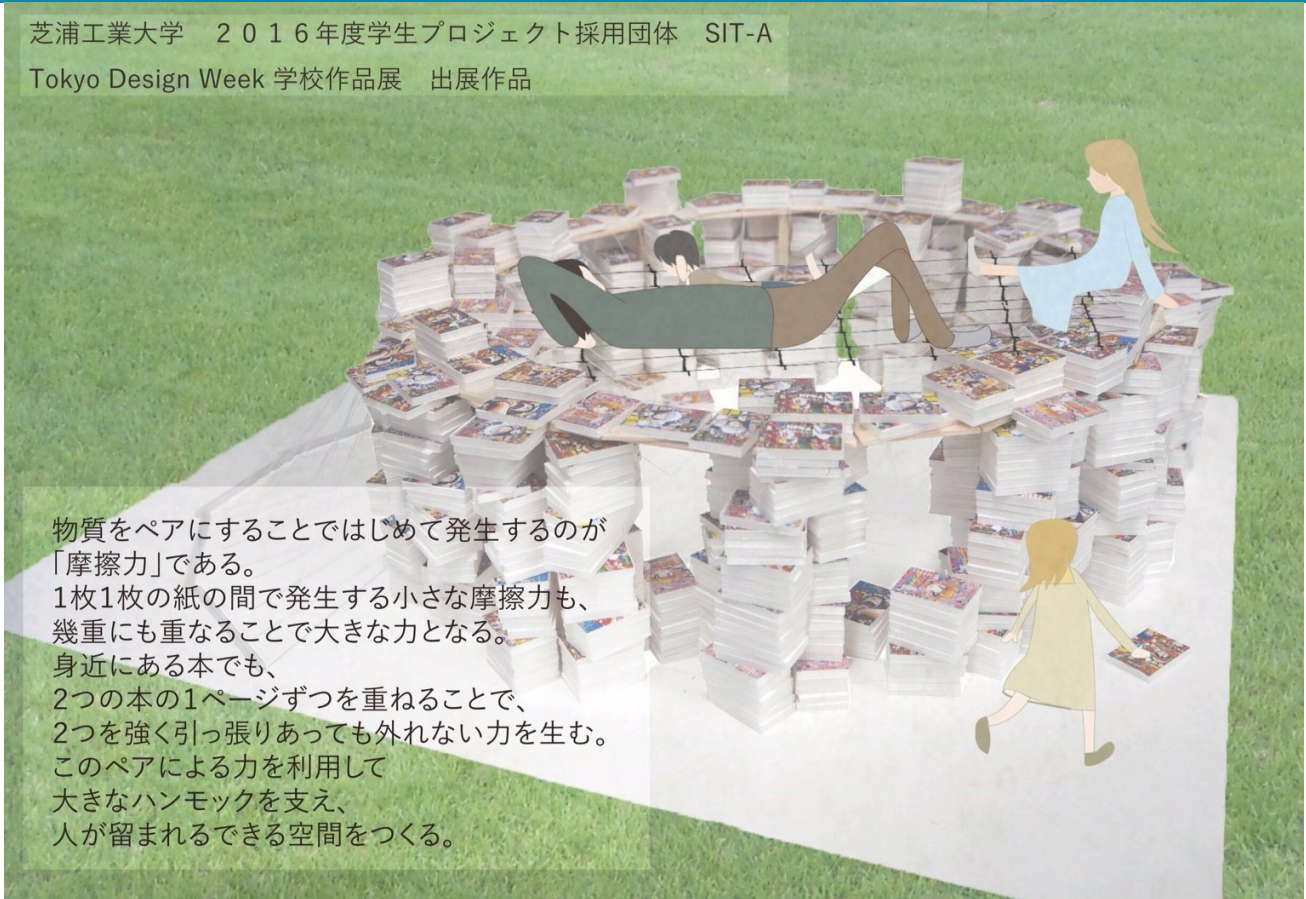
10月26日～11月7日に神宮外苑絵画館前で開催される TOKYO DESIGN WEEK に向けての作品制作を進めているところです。

グランプリに向け作品を最後まで詰めていきます。





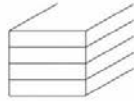
芝浦工業大学 2016 年度学生プロジェクト採用団体 SIT-A
Tokyo Design Week 学校作品展 出展作品



物質をペアにすることで初めて発生するのが「摩擦力」である。
1枚1枚の紙の間で発生する小さな摩擦力も、幾重にも重なることで大きな力となる。
身近にある本でも、2つの本の1ページずつを重ねることで、2つを強く引っ張りあっても外れない力を生む。
このペアによる力を利用して大きなハンモックを支え、人が留まれることができる空間をつくる。



本とヒモがあったら何を想像するだろう



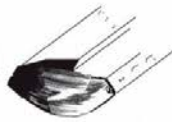
落ち離れて、まずはそのヒモを解こう



ヒモと合わせたらもしかしたらこんなことも
車だって吊るすことができるくらい強いんだ



本をヒモで縛り上げ回収所で野ざらしにするという残酷なストーリーではないだろうか

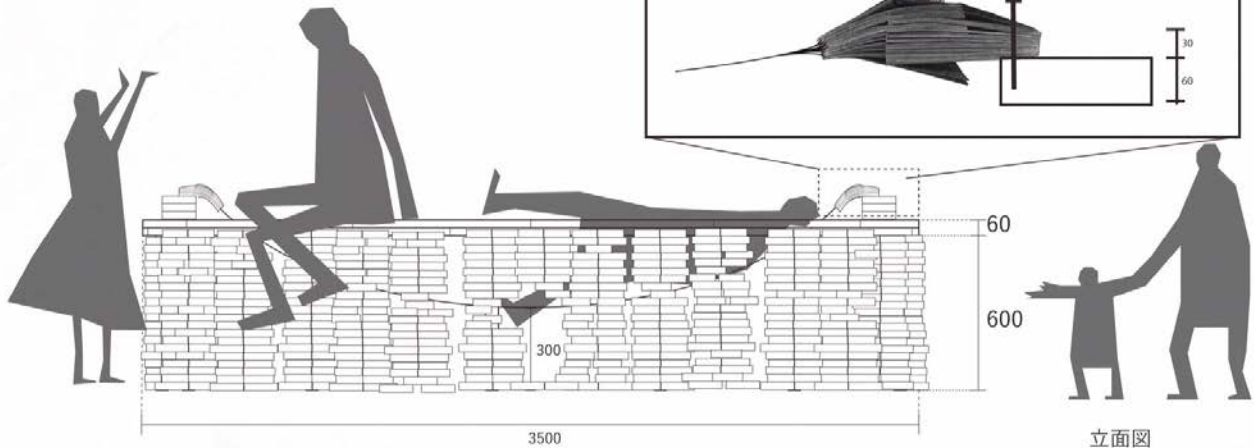


二冊の本を1ページ1ページを交互
大きな摩擦力ができるのではないかと！



有名だったあいつはもう使っていたかも

マンガとヒモの空間



立面図